

能楽堂でタップダンス

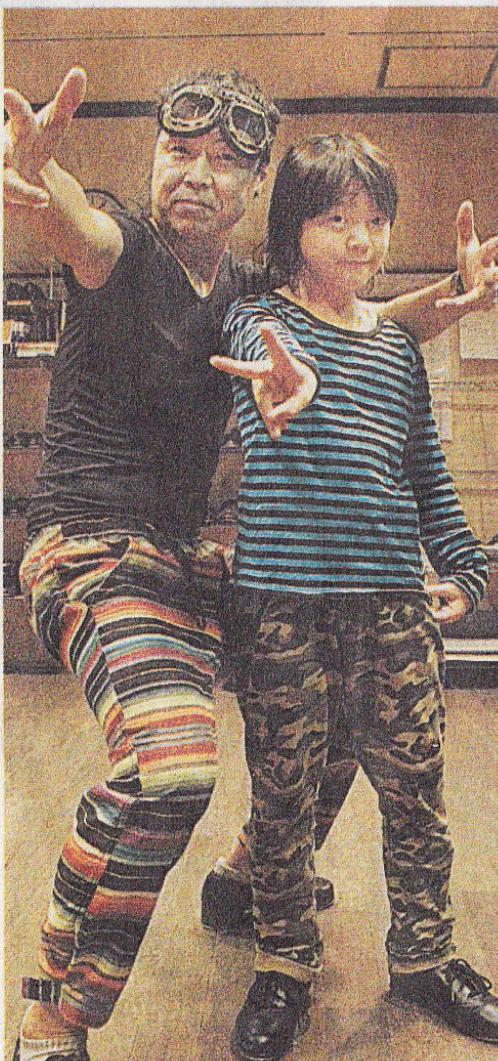
能楽堂でタップダンスと楽器が競演する「TAP in 能樂堂2014」が1月5日にあ
る。タップに絡むのは三味線・尺八といった和の音から、バイオリン・サックス・ギターとい
つた多彩な楽器。タップが奏でる細やかで力強い音と、和洋のリズムが融合する舞台だ。

主演のタップダンスマーケティ
スト、トニー・マサ（Tony
Masa）は東京都出身。ブ

ロードウエーの舞台など、米で
23年活躍した。5年前に帰国、
現在は名古屋を拠点にタップを
軸にした舞台を制作する。「色
々な舞台に立ったが、能楽堂には威圧された。屋内に屋根があることによる響きの違い、柱や

能楽堂でタップダンスと楽器が競演する「TAP in 能樂堂2014」が1月5日にあ
る。タップに絡むのは三味線・尺八といった和の音から、バイオリン・サックス・ギターとい
つた多彩な楽器。タップが奏でる細やかで力強い音と、和洋のリズムが融合する舞台だ。

ステップに和洋のリズム絡め



トニー・マサと鈴木真明地君（右）

通路をどう使うか、初めての挑戦で楽しみ」と意気込みを語る。

上演は約20曲。日本舞踊家やバレエダンサーも出演。また、

名古屋市の小学生タップダンサー・鈴木真明地君（10）とかけ合う場面もある。鈴木君はタップ歴3年だが、コンテストで入賞するなど、伸び盛りの新星だ。

トニー・マサは「タップは音

の出る踊り。ダンサーでありながら、演奏家にもなれる。地元で活躍する芸術家たちとのアンサンブルを楽しんでもらえた」と話している。

同市中区の丸の名古屋能楽堂で午後4時開演。6千円。能演詳細はHP（<http://www.t-step.net>）。（中央のう子）